「公共図書館における障害者サービスの実施状況の調査」
質問紙調査の集計結果

公共図書館における障害者サービスの実施状況を把握するために、「公共図書館における障害者サービスの実施状況の調査」として 2010 年 9 月下旬から 11 月中旬にかけて質問紙調査を実施した。調査票は、『日本の図書館 統計と名簿 2009』を参考に公共図書館 1,397 館に送付し、同一の市区町村内に複数の図書館がある場合は、中央館及びそれに相当する館にその市区町村内の各図書館の調査票のとりまとめを依頼した。

設置母体別の調査票回収数

	調査票 返送件数	回答割合 （N=2,272）
1 都道府県立図書館	53	2.3%
2 政令指定都市立図書館	251	11.0%
3 その他市区立図書館	1,554	68.4%
4 町村立図書館	401	17.6%
5 私立図書館	13	0.6%
計	2,272	100.0%

問１　図書館の概要

図書館の位置づけ

	回答数	回答割合 （N=2,272）
1 中央館	901	39.7%
2 分館	946	41.6%
3 図書室	53	2.3%
4 その他	334	14.7%
無回答	38	1.7%

問２　図書館の障害者に関する設備（複数回答可）

	回答数	回答割合（N=2,272）
1 身障者用トイレ	1,920	84.5%
2 オストメイト対応トイレ	315	13.9%
3 出入り口のスロープ	1,512	66.5%
4 障害者用駐車場	1,556	68.5%
5 障害者に配慮したエレベーター	1,043	45.9%
6 車椅子	1,497	65.9%
7 館内の点字ブロック	902	39.7%
8 対面朗読室	598	26.3%
9 録音室（録音専用）	239	10.5%
10 緊急時用点滅ランプ（聴覚障害者のための警報装置）	168	7.4%
11 案内の点字・拡大表示	277	12.2%
12 誘導チャイム（視覚障害者に入口を案内するもの）	128	5.6%
13 磁気誘導ループ	23	1.0%
14 その他	83	3.7%

「14 その他」の回答例

音声誘導装置	車椅子用デスク
入口の車椅子昇降機	カラー拡大読書機
入り口からカウンターまでの床面ブロック	移動図書館車に車椅子用の昇降リフトを設置

問３　館内 OPAC・利用者用パソコンに備わっている機能・設備（複数回答可）

「館内 OPAC」

	回答数	回答割合（N=2,272）
1 画面や文字の拡大	162	7.1%
2 音声で出力	16	0.7%
3 タッチパネル	1,909	84.0%
4 使いやすいキーボード	111	4.9%
5 車椅子用の高さ	950	41.8%
6 利用者用端末なし	145	6.4%

「利用者用パソコン（インターネットアクセス用）」

	回答数	回答割合（N=2,272）
1 画面や文字の拡大	230	10.1%
2 音声で出力	56	2.5%
3 タッチパネル	74	3.3%
4 使いやすいキーボード	107	4.7%
5 車椅子用の高さ	544	23.9%
6 利用者用端末なし	486	21.4%

問４　図書館ホームページでの障害者への配慮（複数回答可）

	回答数	回答割合（N=2,272）
1 音声ブラウザでも使いやすい工夫をしている	377	16.6%
2 弱視者等のために文字の色や大きさ、背景色等に配慮している	495	21.8%
3 簡易検索画面がある	540	23.8%
4 障害者のための画面を別に作っている	92	4.0%
5 ページ作りをシンプルにして誰もが使えるように配慮している	558	24.6%
6 特に対応していない	758	33.4%
7 ホームページがない	184	8.1%
8 その他	162	7.1%
無回答	189	8.3%

問５　障害者のためのサービスを実施している図書館

	回答数	回答割合（N=2,272）
1 はい	1,503	66.2%
2 いいえ	753	33.1%
無回答	16	0.7%

「2 いいえ」の理由の回答例

施設サービス全般に、健常者にも不十分。設置者の意識が低い。
既存の設備で対応できているため。
職員が少ないため（常時１人）対応できないため。
施設・設備の不備、専門職員の配置なし、予算措置なし。
点字、音訳等は、現在有志による講座、またはボランティアグループが取り組んでおり、図書館としては実施していない状態である。

問６　障害者のために実施しているサービス（複数回答可）

	回答数	回答割合（N=1,503）
1 対面朗読	591	39.3%
2 障害者サービス用資料（録音・点字資料など）の来館貸出	1,311	87.2%
3 図書資料・視聴覚資料の郵送貸出	432	28.7%
4 録音・点字資料の郵送貸出	479	31.9%
5 その他の障害者サービス用資料の郵送貸出	149	9.9%
6 宅配	353	23.5%
7 利用者対象の催しや研修	77	5.1%
8 病院へのサービス（資料貸出等）	194	12.9%
9 施設へのサービス（資料貸出等）	555	36.9%
10 学校へのサービス（資料貸出等）	452	30.1%
11 障害者サービス用資料（録音・点字資料など）の製作	378	25.1%
12 その他	75	5.0%
無回答	13	0.9%

問７　障害者サービスの利用者の障害別・年齢別の人数

障害者サービスの障害別の利用状況（「全年齢」の利用者数１名以上の回答のあった館の数）

	回答数	回答割合（N=1,503）
1 視覚障害者	373	24.8%
2 聴覚障害者	86	5.7%
3 肢体不自由者	208	13.8%
4 内部障害者	41	2.7%
5 知的障害者	74	4.9%
6 精神障害者	32	2.1%
7 学習障害者	13	0.9%
8 入院患者	11	0.7%
9 施設入所者	60	4.0%
10 在宅療養者	22	1.5%
11 高齢者	103	6.9%
12 被収容者	0	0.0%
13 その他	51	3.4%

問８　著作権法の改正やガイドラインに合わせての新たなサービス等の検討

	回答数	回答割合（N=1,503）
1 すでに新しいサービス・利用者の拡大などを行っている	55	3.7%
2 検討している、検討予定である	536	35.7%
3 以前から幅広い利用者へのサービスを実施しているので検討の必要がない	93	6.2%
4 検討の予定はない	353	23.5%
5 著作権法の改正についてよく知らない	60	4.0%
6 その他	96	6.4%
無回答	310	20.6%

「1 すでに新しいサービス・利用者の拡大などを行っている」を「具体的に」の回答例

デイジー録音機を今年度中に購入予定で、録音図書を作成し貸出への準備を進めている。
精神障害者、知的障害者、発達障害者等へもサービスができるよう内規を改正した。
所蔵している録音図書の利用者の範囲を拡大。
著作権者の許諾を得ずに音訳図書の製作を行っている。

「4 検討の予定はない」の理由の回答例

サービスを拡大するための機器や人材の確保が困難なため。
今までに障害者サービスの利用者がおらず、そちらに力を入れるだけの予算も人員もないため。
職員・予算不足。
社会福祉協議会や他のボランティアグループが行っているため。その他、大活字本等の購入については実施済み（今後も継続）。
資料の宅配サービスに重点をおいており、複製等に関する要望は無いことから、今後そういった機運が高まった際に検討する。

「6 その他」の回答例

実際に利用者から要望が出てきた時点で、要望に沿った対応が可能であるか検討する方針としている。
人員不足、予算不足の為、当分の間は予定なし。
図書館スペースや配置職員など、諸制限の中で総合的に検討して行きたい。
中央図書館の検討事項である。
現在指定管理者制度を導入しているが、昨年度からの方向が決定していないため、予算、人員が未定。

問 9　対面朗読を実施しているサービスポイント

対面朗読を実施しているサービスポイントを 1 以上と回答した館の数（「利用者宅」は実施と回答した館の数）

	回答数	回答割合（N=591）
1 図書館	517	87.5%
2 図書館以外の公共施設	32	5.4%
3 利用者宅	17	2.9%
4 その他	12	2.0%

問 10　対面朗読の障害別の利用者数と実施時間

対面朗読の障害別の利用状況（利用者数 1 名以上と回答した館の数）

	回答数	回答割合（N=591）
1 視覚障害者	278	47.0%
2 聴覚障害者	4	0.7%
3 肢体不自由者	7	1.2%
4 内部障害者	0	0.0%
5 知的障害者	2	0.3%
6 精神障害者	1	0.2%
7 学習障害者	0	0.0%
8 入院患者	2	0.3%
9 施設入所者	6	1.0%
10 在宅療養者	2	0.3%
11 高齢者	5	0.8%
12 被収容者	0	0.0%
13 その他	0	0.0%

問 11　対面朗読の実施者（職員は実人数、職員以外は 2009 年度の登録人数）

対面朗読の障害別の利用状況（利用者数 1 名以上と回答した館の数）

	回答数	回答割合（N=591）
1 職員	65	11.0%
2 図書館協力者	135	22.8%
3 個人登録のボランティア	57	9.6%
4 図書館に登録したグループのメンバー	144	24.4%
5 その他	37	6.3%

問 12　対面朗読の利用対象者（複数回答可）

	回答数	回答割合（N=591）
1 活字による読書に障害のある人全てを対象とし、それ以外の制限はない	284	48.1%
2 障害の種類による制限がある	116	19.6%
3 障害者手帳所持を条件としている	152	25.7%
4 その他	69	11.7%
無回答	72	12.2%

問 13　対面朗読の利用時間・回数などの制限（複数回答可）

	回答数	回答割合（N=591）
1 無制限に利用できる	162	27.4%
2 時間・回数に制限がある	256	43.3%
3 曜日に制限がある	86	14.6%
4 その他	110	18.6%
無回答	66	11.2%

問 14　対面朗読の対象資料（複数回答可）

	回答数	回答割合（N=591）
1 図書館資料（相互貸借を含む）	512	86.6%
2 持参資料（図書館資料になりうるもの）	375	63.5%
3 持参資料（取扱説明書・パンフレットなど）	278	47.0%
4 私的な文書(手紙など)	177	29.9%
5 その他	41	6.9%
無回答	62	10.5%

問 15　対面朗読のための図書館での送迎（複数回答可）

	回答数	回答割合（N=591）
1 職員が行っている	18	3.0%
2 朗読(音訳)者が行っている	36	6.1%
3 行っていない	452	76.5%
4 その他	38	6.4%
無回答	65	11.0%

問 16　資料の個人貸出の実施状況（複数回答可）

	回答数	回答割合（N=1,368）
1 録音図書（テープ版）	794	58.0%
2 録音図書（DAISY 版）	380	27.8%
3 録音雑誌（テープ版）	333	24.3%
4 録音雑誌（DAISY 版）	267	19.5%
5 点字図書（冊子体）	760	55.6%
6 点字図書（データ）	75	5.5%
7 点字雑誌（冊子体）	398	29.1%
8 点字雑誌（データ）	87	6.4%
9 点字絵本	708	51.8%
10 マルチメディア DAISY	135	9.9%
11 大活字本	1,289	94.2%
12 拡大写本	194	14.2%
13 さわる絵本・布の絵本	529	38.7%
14 バリアフリー・ユニバーサルデザイン絵本	294	21.5%
15 やさしく読める図書（LL ブックなど）	209	15.3%
16 障害者用字幕・手話入りビデオ	211	15.4%
17 その他	88	6.4%

母数は、この設問の回答館数である。

問 17　資料の図書館間の相互貸借の実施状況（複数回答可）

	回答数	回答割合 （N=1,307）
1 録音図書（テープ版）	357	27.3%
2 録音図書（DAISY 版）	201	15.4%
3 録音雑誌（テープ版）	145	11.1%
4 録音雑誌（DAISY 版）	109	8.3%
5 点字図書（冊子体）	413	31.6%
6 点字図書（データ）	47	3.6%
7 点字雑誌（冊子体）	189	14.5%
8 点字雑誌（データ）	35	2.7%
9 点字絵本	473	36.2%
10 マルチメディア DAISY	56	4.3%
11 大活字本	994	76.1%
12 拡大写本	93	7.1%
13 さわる絵本・布の絵本	281	21.5%
14 バリアフリー・ユニバーサルデザイン絵本	193	14.8%
15 やさしく読める図書（LL ブックなど）	105	8.0%
16 障害者用字幕・手話入りビデオ	53	4.1%
17 その他	31	2.4%

母数は、この設問の回答館数である。

問 18　郵送貸出・宅配の実施状況（複数回答可）

資料別の郵送貸出の実施状況

	回答数	回答割合 （N=843）
1 一般図書資料・大活字図書等冊子体資料	356	42.2%
2 市販テープ･CD	338	40.1%
3 市販ビデオテープ・DVD	172	20.4%
4 その他	39	4.6%
無回答	57	6.8%

母数は、図書資料・視聴覚資料の郵送貸出、録音・点字資料の郵送貸出、その他の障害者サービス用資料の郵送貸出、宅配の実施館の重複を除く総数である。

資料別の宅配の実施状況

	回答数	回答割合 （N=843）
1 一般図書資料・大活字図書等冊子体資料	299	35.5%
2 市販テープ・CD	219	26.0%
3 市販ビデオテープ・DVD	141	16.7%
4 その他	19	2.3%
無回答	58	6.9%

母数は、図書資料・視聴覚資料の郵送貸出、録音・点字資料の郵送貸出、その他の障害者サービス用資料の郵送貸出、宅配の実施館の重複を除く総数である。

問 19　郵送や宅配での経費負担者

	回答数	回答割合 （N=843）
1 経費のかかるようなサービスは実施していない	361	42.8%
2 往復とも図書館が料金を負担している	234	27.8%
3 片道分の料金を図書館が負担している	67	7.9%
4 往復とも利用者が料金を負担している	20	2.4%
5 その他	58	6.9%
無回答	103	12.2%

母数は、図書資料・視聴覚資料の郵送貸出、録音・点字資料の郵送貸出、その他の障害者サービス用資料の郵送貸出、宅配の実施館の重複を除く総数である。

問 20　障害者向けの資料の所蔵・製作の状況

障害者向けの資料の所蔵状況（所蔵 1 以上と回答した館の数）

	回答数	回答割合 （N=1,503）
1 録音図書（テープ版）	462	30.7%
2 録音図書（DAISY 版）	140	9.3%
3 録音雑誌（テープ版）	87	5.8%
4 録音雑誌（DAISY 版）	31	2.1%
5 点字図書（冊子体）	490	32.6%
6 点字図書（データ）	18	1.2%
7 点字雑誌（冊子体）	178	11.8%
8 点字雑誌（データ）	11	0.7%
9 点字絵本	406	27.0%
10 字幕・手話入りビデオ	104	6.9%
11 マルチメディア DAISY	20	1.3%
12 大活字本	971	64.6%
13 拡大写本	39	2.6%
14 さわる絵本・布の絵本	323	21.5%
15 やさしく読める図書（LL ブックなど）	42	2.8%
16 バリアフリー・ユニバーサルデザイン絵本	107	7.1%
17 その他	92	6.1%

障害者向けの資料の自館製作状況（製作数１以上と回答した館の数）

	回答数	回答割合 （N=1,503）
1 録音図書（テープ版）	148	9.8%
2 録音図書（DAISY 版）	77	5.1%
3 録音雑誌（テープ版）	44	2.9%
4 録音雑誌（DAISY 版）	12	0.8%
5 点字図書（冊子体）	51	3.4%
6 点字図書（データ）	9	0.6%
7 点字雑誌（冊子体）	5	0.3%
8 点字雑誌（データ）	3	0.2%
9 点字絵本	26	1.7%
10 字幕・手話入りビデオ	2	0.1%
11 マルチメディア DAISY	0	0.0%
12 大活字本		
13 拡大写本	10	0.7%
14 さわる絵本・布の絵本	75	5.0%
15 やさしく読める図書（LL ブックなど）	0	0.0%
16 バリアフリー・ユニバーサルデザイン絵本	0	0.0%
17 その他	16	1.1%

問 21　資料製作者

資料別の資料製作者の状況（1 名以上の回答のあった館の数）（業者委託は実施との回答）

「1 音訳」

	回答数	回答割合（N=378）
職員	19	5.0%
図書館協力者	50	13.2%
個人登録のボランティア	25	6.6%
図書館に登録したグループのメンバー	95	25.1%
業者委託	0	0.0%
その他	10	2.6%

「2 DAISY の編集」

	回答数	回答割合（N=378）
職員	18	4.8%
図書館協力者	31	8.2%
個人登録のボランティア	11	2.9%
図書館に登録したグループのメンバー	43	11.4%
業者委託	2	0.5%
その他	2	0.5%

「3 点訳」

	回答数	回答割合（N=378）
職員	9	2.4%
図書館協力者	16	4.2%
個人登録のボランティア	12	3.2%
図書館に登録したグループのメンバー	44	11.6%
業者委託	1	0.3%
その他	11	2.9%

「4 字幕・手話つきビデオ」

	回答数	回答割合（N=378）
職員	1	0.3%
図書館協力者	2	0.5%
個人登録のボランティア	0	0.0%
図書館に登録したグループのメンバー	2	0.5%
業者委託	0	0.0%
その他	1	0.3%

「5 マルチメディア DAISY」

	回答数	回答割合（N=378）
職員	0	0.0%
図書館協力者	0	0.0%
個人登録のボランティア	0	0.0%
図書館に登録したグループのメンバー	1	0.3%
業者委託	1	0.3%
その他	0	0.0%

「6 拡大写本」

	回答数	回答割合（N=378）
職員	1	0.3%
図書館協力者	2	0.5%
個人登録のボランティア	1	0.3%
図書館に登録したグループのメンバー	4	1.1%
業者委託	0	0.0%
その他	0	0.0%

「7 さわる絵本・布の絵本」

	回答数	回答割合 （N=378）
職員	6	1.6%
図書館協力者	2	0.5%
個人登録のボランティア	8	2.1%
図書館に登録したグループのメンバー	50	13.2%
業者委託	1	0.3%
その他	3	0.8%

「8 その他」

	回答数	回答割合 （N=378）
職員	1	0.3%
図書館協力者	0	0.0%
個人登録のボランティア	2	0.5%
図書館に登録したグループのメンバー	6	1.6%
業者委託	1	0.3%
その他	0	0.0%

問 22　蔵書にしない資料の製作（個人利用者へのプライベート製作など）（複数回答可）

	回答数	回答割合 （N=378）
1 音訳	119	31.5%
2 点訳	44	11.6%
3 文字の拡大	10	2.6%
4 墨字訳（代筆）	15	4.0%
5 実施していない	184	48.7%
6 その他	9	2.4%
無回答	59	15.6%

問 23　施設等を対象としたサービスの実施状況（複数回答可）

	回答数	回答割合 （N=1,503）
1 病院	158	10.5%
2 特別養護老人ホーム	303	20.2%
3 老人保健施設	295	19.6%
4 障害者施設	209	13.9%
5 盲学校（特別支援学校）	52	3.5%
6 ろう学校（特別支援学校）	64	4.3%
7 養護学校（特別支援学校）	174	11.6%
8 小中高校	352	23.4%
9 矯正施設	26	1.7%
10 その他	137	9.1%

問 24　施設等においての資料貸出以外のサービス

「特別養護老人ホーム」の回答例（N=50）

ボランティアグループによる朗読。
思い出語りの会（回想法）を実施、ボランティアと図書館職員が一緒に施設を訪問して実施。
コンサート等の案内。
おはなし会、毎月 1 回、デイサービスには年 4 回。
図書館で不用になった資料（リサイクル本）の提供、1 回。

「老人保健施設の回答例」（N=47）

ボランティアグループによる朗読。
思い出語りの会（回想法）を実施、ボランティアと図書館職員が一緒に施設を訪問して実施。
お話しの会。
図書館で不用になった資料（リサイクル本）の提供、1 回。
ボランティア会員（延べ 43 人）による施設訪問 8 回。

「障害者施設」の回答例（N=26）

アウトリーチ（読み聞かせ）、図書館員 3 名、月 1 回、参加 10 名程度。
ボランティア会員（延べ 43 人）による施設訪問 10 回。
リサイクル雑誌の提供。
対面朗読・資料製作。

「盲学校（特別支援学校）」の回答例（N=22）

拡大本の寄贈。
レファレンス。
リサイクル本の移譲・年一回・2団体。
サービス情報送付。
職場体験学習の受入・図書館見学。絵本、紙芝居の読み聞かせ。

「ろう学校（特別支援学校）」の回答例（N=21）

サービス情報送付。
職場体験学習の受入・図書館見学。絵本、紙芝居の読み聞かせ。
ブックトーク、職員による、年1回（クラス、学年単位）。
図書館へ来館、施設見学、おはなし会、個人貸出、年1回、5人。
年3回訪問、お話し会・ブックトークを行っている。

「養護学校（特別支援学校）」の回答例（N=73）

レファレンス・複写サービス。
お話しの会（3回、30人）、読書感想画募集（1回、12人）。
おはなし宅配便（出張形式の読み聞かせサービス）7回123人。
職場体験学習受入1名。

「小中高校」の回答例（N=133）

図書館職員・ボランティアが訪問し、ブックトーク、ストーリーテリング、おはなし会を実施。
学校に出向いて、おはなし会などを行う。（39回、996人）。
各学校への資料の配送（週4日）。
レファレンス・複写サービス。
見学や職場体験の受入。

「矯正施設」の回答例（N=4）

職場体験等の受入。
除籍になった資料等の頒布会。図書館職員が担当。年1回、参加施設数39（昨年度）。
団体貸出、施設職員、年6回。
施設職員、院生が来館して選書、団体貸出。

「その他」の回答例（N=42）

子ども発達センター。おはなし会（児童、ハンディキャップサービス、隔月1回、3人）。
デイサービス、月1回、1時間程度のお話会。
市内の通所介護施設へ出張読みきかせ。
老人福祉センターへおはなし会。

問 25　障害者サービスを担当する職員数

障害者サービスの担当職員数 0.1 名以上と回答した館の数

	回答数	回答割合（N=1,503）
1 専任	142	9.4%
2 兼任	936	62.3%

専任の職員数

	回答数	回答割合（N=1,503）
0 名	1,189	79.1%
0.1～1.0 名	65	4.3%
1.1～2.0 名	24	1.6%
2.1～3.0 名	18	1.2%
3.1～4.0 名	8	0.5%
4.1～5.0 名	7	0.5%
5.1 名以上	20	1.3%
不明	5	0.3%
無回答	167	11.1%

兼任の職員数

	回答数	回答割合（N=1,503）
0 名	387	25.7%
0.1～1.0 名	400	26.6%
1.1～2.0 名	245	16.3%
2.1～3.0 名	102	6.8%
3.1～4.0 名	55	3.7%
4.1～5.0 名	41	2.7%
5.1 名以上	93	6.2%
不明	8	0.5%
無回答	172	11.4%

問 26　手話・点字のできる職員数

手話・点字のできる職員数 1 名以上と回答した館の数

	回答数	回答割合 （N=1,503）
1 手話	122	8.1%
2 点字	99	6.6%

手話のできる職員数

	回答数	回答割合 （N=1,503）
0 名	1,180	78.5%
1 名	97	6.5%
2 名	17	1.1%
3 名	2	0.1%
4 名	2	0.1%
5 名以上	4	0.3%
無回答	201	13.4%

点字のできる職員数

	回答数	回答割合 （N=1,503）
0 名	1,203	80.0%
1 名	73	4.9%
2 名	16	1.1%
3 名	5	0.3%
4 名	1	0.1%
5 名以上	4	0.3%
無回答	201	13.4%

問 27　障害のある職員数

障害のある職員数 1 名以上と回答した館の数

	回答数	回答割合 （N=1,503）
1 正規	157	10.4%
2 非正規	82	5.5%

問 28　職員を対象とする障害者サービスに関する研修

「館内研修」の回答例（N=123）

月に１回、手話サークルの方を講師に、手話の研修を実施している。
主催している音訳者養成講座を受講。
館内に設置している拡大読書器の使用方法に関する研修。
デイジー図書の説明。
手話の練習。

「外部研修」の回答例（N=115）

県図書館等で研修がある場合、参加。
外部の DAISY 研修はじめ障がい者サービス関連研修に参加。
県立図書館の研修会に参加。
国立国会図書館関西館における障害者サービス担当職員向け講座。

「その他」の回答例（N=31）

宅配サービスを実施している先進図書館を視察しそのノウハウを研修した。
新人職員研修。
手話研修（市役所）。
当館へ出向き・派遣された他館職員を対象にした実習もあり。
障害者サービス担当者会議の開催。

問 29　障害者サービス用の機器の設置状況（複数回答可）

館内利用用機器の設置状況

	回答数	回答割合（N=1,503）
1 拡大鏡	791	52.6%
2 拡大読書機	622	41.4%
3 利用者用点訳パソコン	32	2.1%
4 点字ピンディスプレイ	36	2.4%
5 点字タイプライター	47	3.1%
6 点訳ソフト	45	3.0%
7 点図ソフト	5	0.3%
8 点字プリンター	44	2.9%
9 点字製本機	3	0.2%
10 立体コピー機	5	0.3%
11 録音用デッキ	159	10.6%
12 ダブルデッキ	60	4.0%
13 高速ダビング機（テープ）		
14 CD コピー機		
15 デジタル録音機	37	2.5%
16 音訳パソコン	56	3.7%
17 DAISY 再生機	108	7.2%
18 DAISY 録音再生機	90	6.0%
19 DAISY 録音編集ソフト	37	2.5%
20 マルチメディア DAISY 編集ソフト	3	0.2%
21 オーディオキャプチャー（オーディオインターフェース）	16	1.1%
22 音声読書機	123	8.2%
23 その他	46	3.1%
無回答	16	1.1%

利用者貸出用機器の設置状況

	回答数	回答割合（N=1,503）
1 拡大鏡	19	1.3%
2 拡大読書機	11	0.7%
3 利用者用点訳パソコン	0	0.0%
4 点字ピンディスプレイ	0	0.0%
5 点字タイプライター	1	0.1%
6 点訳ソフト	0	0.0%
7 点図ソフト	0	0.0%
8 点字プリンター	0	0.0%
9 点字製本機	0	0.0%
10 立体コピー機	0	0.0%
11 録音用デッキ	4	0.3%
12 ダブルデッキ	2	0.1%
13 高速ダビング機（テープ）		
14 CD コピー機		
15 デジタル録音機	12	0.8%
16 音訳パソコン	1	0.1%
17 DAISY 再生機	67	4.5%
18 DAISY 録音再生機	30	2.0%
19 DAISY 録音編集ソフト	0	0.0%
20 マルチメディア DAISY 編集ソフト	0	0.0%
21 オーディオキャプチャー（オーディオインターフェース）	0	0.0%
22 音声読書機	1	0.1%
23 その他	4	0.3%
無回答	16	1.1%

協力者貸出用機器の設置状況

	回答数	回答割合 （N=1,503）
1 拡大鏡	4	0.3%
2 拡大読書機		
3 利用者用点訳パソコン	6	0.4%
4 点字ピンディスプレイ	1	0.1%
5 点字タイプライター	6	0.4%
6 点訳ソフト	18	1.2%
7 点図ソフト	4	0.3%
8 点字プリンター	20	1.3%
9 点字製本機	1	0.1%
10 立体コピー機	0	0.0%
11 録音用デッキ	62	4.1%
12 ダブルデッキ	11	0.7%
13 高速ダビング機（テープ）		
14 CD コピー機		
15 デジタル録音機	39	2.6%
16 音訳パソコン	15	1.0%
17 DAISY 再生機	26	1.7%
18 DAISY 録音再生機	37	2.5%
19 DAISY 録音編集ソフト	34	2.3%
20 マルチメディア DAISY 編集ソフト	1	0.1%
21 オーディオキャプチャー （オーディオインターフェース）	22	1.5%
22 音声読書機	2	0.1%
23 その他	2	0.1%
無回答	16	1.1%

自館業務用機器の設置状況

	回答数	回答割合 （N=1,503）
1 拡大鏡	26	1.7%
2 拡大読書機	9	0.6%
3 利用者用点訳パソコン	26	1.7%
4 点字ピンディスプレイ	24	1.6%
5 点字タイプライター	43	2.9%
6 点訳ソフト	84	5.6%
7 点図ソフト	17	1.1%
8 点字プリンター	91	6.1%
9 点字製本機	8	0.5%
10 立体コピー機	16	1.1%
11 録音用デッキ	166	11.0%
12 ダブルデッキ	76	5.1%
13 高速ダビング機（テープ）	158	10.5%
14 CD コピー機	110	7.3%
15 デジタル録音機	87	5.8%
16 音訳パソコン	76	5.1%
17 DAISY 再生機	89	5.9%
18 DAISY 録音再生機	112	7.5%
19 DAISY 録音編集ソフト	108	7.2%
20 マルチメディア DAISY 編集ソフト	10	0.7%
21 オーディオキャプチャー （オーディオインターフェース）	69	4.6%
22 音声読書機	20	1.3%
23 その他	22	1.5%
無回答	16	1.1%

問 30　電話やファクス・Ｅメールを使っての障害に配慮したサービス

回答例（N=244）

聴覚障害者	予約連絡などの事務連絡を E メールや FAX にて行っている。
聴覚障害者	FAX での予約本確保連絡。
障害者・高齢者	リクエストの受付、宅配。
聴覚障害者	FAX、E メールによる連絡（貸出依頼や調査相談等）。
患者さん	予約した資料を病棟に届け貸出する。

問 31　障害者サービス関連の催しや利用者対象の研修

回答例（N=33）

音訳者養成講座の実施。（健常者を対象に講座を実施し、音訳者を養成する。修了者はボランティアグループに入り音訳図書作成に携わっていただく。）DAISY 研修の実施。（視覚障がい者対象。再生機の説明と操作研修の実施により DAISY 図書に親しんでいただく。）
平成 21 年度障害者用読書支援機器活用講座。「各種デジタル録音図書プレイヤー及び活字読み上げ機器の操作説明」視覚障害利用者及び支援する音訳者を対象に、携帯用 DAISY プレイヤーと印刷された活字文書を音声で読み上げる読書機を中心に、各種読書支援機器の紹介を行った。
朗読ボランティアを対象に、外部講師を招いて講習会を実施。点字ボランティアを対象に、外部講師を招いて講習会を実施。
音訳者養成講座（初級全 13 回、中級全 5 回）。デイジー講習会（全 3 回）。高齢者サービス協力者養成講習会（2 年に一度開催）。

問 32　障害者サービス関連での PR 用作成物（複数回答可）

「活字版」

	回答数	回答割合（N=1,503）
1 利用案内（一般）	289	19.2%
2 所蔵音訳図書目録	140	9.3%
3 所蔵点字図書目録	90	6.0%
4 図書館報の音訳・点訳		
5 障害者サービス独自の PR 誌	58	3.9%
6 作成していない	520	34.6%
7 その他	61	4.1%
無回答	560	37.3%

「音声版」

	回答数	回答割合 （N=1,503）
1 利用案内（一般）	70	4.7%
2 所蔵音訳図書目録	127	8.4%
3 所蔵点字図書目録	43	2.9%
4 図書館報の音訳・点訳	48	3.2%
5 障害者サービス独自の PR 誌	36	2.4%
6 作成していない	520	34.6%
7 その他	20	1.3%
無回答	560	37.3%

「点字版」

	回答数	回答割合 （N=1,503）
1 利用案内（一般）	63	4.2%
2 所蔵音訳図書目録	56	3.7%
3 所蔵点字図書目録	75	5.0%
4 図書館報の音訳・点訳	20	1.3%
5 障害者サービス独自の PR 誌	9	0.6%
6 作成していない	520	34.6%
7 その他	15	1.0%
無回答	560	37.3%

問 33　ウェブサイトでの掲載

	回答数	回答割合 （N=1,503）
1 全部公開可	1,045	69.5%
2 一部を除き公開可	35	2.3%
3 公開不可	199	13.2%
無回答	224	14.9%

問 34　障害者サービスについて、疑問・困っていること・考えていること等

回答例（N=366）

HowToがわからないので、やりたいと思っても中々始められない。
指定管理者なので、事業を今までしていない事について拡大するのは様々な点で難しいです。障害者用機器についても、予算がつかないです。
予算の目途が立たない。（年間利用者が明確にならない。このため予算化されにくい分野である。）スペースがない。（大規模な改修が必要な場合は、既存施設では対応できない。）
以前、資料の宅配等を検討したが、サービス対象者のリストアップでつまずきました。個人情報とのかねあいがむずかしいと思っています。
職員による異動があるため、サービスを行いたくても経験者がいないためそちらまで手が回らないのが実情です。他館ではそういった経験者のいない状況等からサービスを行うことができるのか、どこまで行えるものなのか、機会があれば伺いたいと思います。
必要なサービスであることはわかっていても、なかなか取りくむことができない現状です。将来的に施設の移転、リフォーム等の機会があれば、まずユニバーサルデザインの導入を強く提案したいです。
障害者サービスがあれば、長期的な取組を考えていかなければならない今日ですが、市の予算の中での実現が厳しく憂慮しているところです。
障害者サービスを図るためには、資料、職員数と一定の財源を要する。現在の市の図書館予算では、障害者サービス向上を目指しても限界である。図書館予算と異なる別途障害者サービス（福祉予算）等の予算化を是非望みたい。
館が古い為、改修しなくては障害者サービスは行えず又改修する資金等がありません。
図書館の利用に障害のある人で、図書館サービスを希望している人が町内にどれくらいいるのか、把握するのが難しい。（潜在的な利用者を発掘することも含めて。）
音訳者の質がまちまちで一定の水準を保つことができない。デイジー編集者養成がなかなか進まない。音訳者の高齢化。
館内が狭く、車椅子の利用者が利用し易い状況でない。障害者等の利用が少ないし資料も少ない。